

平成 23 年度 事業報告書

本財団の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

1 理事会等開催状況

会議名	開催日	内容
平成 23 年度 第 1 回 臨時理事会	平成 23 年 6 月 17 日 書面による理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度事業報告 ・平成 22 年度収支決算 ・北部九州自動車産業活性化人材養成等事業運営資金借入れに係る担保提供 ・評議員の退任及び選任
平成 23 年度 第 1 回 臨時評議員会	平成 23 年 6 月 22 日 書面による評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度事業報告 ・平成 22 年度収支決算 ・北部九州自動車産業活性化人材養成等事業運営資金借入れに係る担保提供 ・理事の退任及び選任
平成 23 年度 第 2 回 臨時評議員会	平成 24 年 1 月 4 日 書面による評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の退任及び選任
平成 23 年度 第 1 回 通常理事会	平成 24 年 3 月 23 日 西鉄グランドホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業計画 ・平成 24 年度収支予算 ・新法人移行に伴う評議員選定委員会の設置について ・運営資金の借入れに係る担保提供について ・評議員の選任
平成 23 年度 第 1 回 通常評議員会	平成 24 年 3 月 26 日 西鉄グランドホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業計画 ・平成 24 年度収支予算 ・新法人移行に伴う評議員選定委員会の設置について ・運営資金の借入れに係る担保提供について ・理事・監事の選任

※書面による理事会・評議員会の開催日は、決議書提出日

2 事業の概要

(1) 学術研究に関する広報活動事業

① セミナー・説明会等の開催

i 「九州大学学術研究都市セミナー in 東京」

- ・テーマ：「最先端の頭脳拠点が集積する九大学研都市」
- ・開催日時：平成23年9月21日 14:00～18:30
- ・開催場所：品川プリンスホテル
- ・参加者数：181名

ii 「第7回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」

- ・テーマ：「エネルギー等循環型社会への取組みについて～ゼロエミッションを目指して」
- ・開催日時：平成23年6月27日 14:00～18:40
- ・開催場所：ホテルセントラーザ博多
- ・参加者数：142名

iii OPACK交流会の開催

九州大学の研究者と地場企業との交流の場を提供するため、交流会を開催した。

第15回「水素システム用高分子材料の開発」

- ・開催日時：平成23年5月18日
- ・開催場所：OPACK事務所
- ・参加人数：10名

第16回「抗がん・抗メタボ成分効果の迅速・確実なセルベース評価技術の開発」

- ・開催日時：平成23年9月7日
- ・開催場所：OPACK事務所
- ・参加人数：14名

第17回「スフィンゴ脂質と高度不飽和脂肪酸の代謝と機能」

- ・開催日時：平成23年12月13日
- ・開催場所：OPACK事務所
- ・参加人数：8名

iv 「その他出展活動」

- ・日本顕微鏡学会 第67回学術講演会 展示会 (5/16～18、福岡国際会議場)
- ・Bio Japan 2011 (10/5～7、パシフィコ横浜)
- ・水素エネルギー先端技術展 2011 (11/9～11、西日本総合展示場)
- ・nano tech 2012 (2/15～17、東京ビッグサイト)
- ・FC EXPO 2012 (2/29～3/2、東京ビッグサイト)

② 国省庁等への要望活動

平成23年7月25日、関係省庁（内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の1府5省庁36関係課等）に対し、九大学研都市構想の推進に必要な事項に関する要望活動を実施した。

③ 九大学研都市情報のプラットフォーム

i ホームページの活用

当機構の活動についてタイムリーな情報発信を行った。

ii メールマガジンの発行

九大学研都市に関係する諸機関・団体等の情報を迅速に発信した。

iii 機構ニュース「OPACKめーる」の発行

当機構の業務や学術研究都市に関する情報提供のため、機構ニュース「OPACKめーる」を定期的（年3回）に発行した。

・発行時期：年3回（5月、9月、1月）

・発行部数：各号2,500部

④ その他の広報活動

i 「九州大学学術研究都市構想促進東京会議第10回総会」の開催

首都圏のオピニオンリーダーと九州大学学術研究都市に関する意見交換を行った。

・開催日時：平成24年1月27日

・開催場所：ザ・プリンスさくらタワー東京

・参加人員：18名（東京会議委員11名、地元代表者7名）

・内 容：九州大学学術研究都市の進展と今後に関する説明、九大学研都市における最先端研究に関する講演及び交流会

ii プラズマディスプレイの活用

JR九大学研都市駅に、情報発信拠点としてモニターテレビを設置し、九大学研都市の情報や九州大学の情報など、様々なコンテンツ情報を発信した。

(2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

① 分析クラスター形成推進事業

新物質・新技術の研究開発や研究成果の実用化のために必要な「計測・分析」の機能に対する企業・研究機関等の需要増大に着目し、九州大学学術研究都市における分析クラスター形成への取組みを推進した。

i 「第52回分析化学講習会」の開催支援（8/3～5、九州大学伊都キャンパス・福岡市産学連携交流センター）

ii 「Bio Japan 2011」出展

② 化学系先端研究プロジェクトとの連携

九州大学の従来組織との連携のほか、プロジェクト等の支援に積極的に取り組み、未来化学創造センターや最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）と協働し、研究開発拠点形成への取組みを行った。

i 「未来化学創造センター」支援

ii 「最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）」との連携

iii 「nano tech 2011」出展

- ③ オートモーティブサイエンスコンソーシアムとの連携
自動車関連企業の誘致促進に向け、九大オートモーティブサイエンス専攻や産学官連携のオートモーティブサイエンスコンソーシアムと協働し、研究開発拠点形成への取組みを行った。
- ③ 福岡社会情報基盤協議会の研究活動支援
九大学研都市を舞台に、九州大学発の ID 管理システム(MIID)を利用した新しい社会基盤の構築を目指す同協議会の運営メンバーとして参画し、活動を支援した。
- ④ 学研都市を実証フィールドとする研究プロジェクト
九州大学学術研究都市を実証フィールドとする産学官連携研究プロジェクトの創出を図るべく、関係諸分野の研究テーマについて調査を行った。
- ⑤ 超高压電子顕微鏡フォーラム（特別会計）
九州大学超高压電子顕微鏡室と連携して、九州大学保有の電子顕微鏡の民間企業への開放を行い、産学官交流・連携を促進した。(会員企業数：8社)
またナノテク産業化基盤技術の有効活用及び高度化と融合を目指した研究会を3月9日に開催した。

(3) 産学連携交流支援事業

- ① 都市形成調査
九州大学学術研究都市構想の実現・企業立地の促進に求められる「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」に向けて、その具体化に必要な調査・検討を行った。
 - i タウン・オン・キャンパスまちづくり推進会議の開催（3回/年）
 - ii 今後の学研都市における交通に関する調査
 - iii 伊都ユニバーシティアヴェニュープロジェクトの推進
- ② 産学連携交流センターとの交流事業
「福岡市産学連携交流センター」においてナノ・バイオなどの研究拠点として中核的役割を担うための様々な取組みを関係機関と連携して行うとともに、同センターの九州大学の研究者や入居企業との交流を深めた。
 - i 第二センター建設に伴う協議会等参加と新たな機能付加等の検討
 - ii 第二センター入居候補者の発掘
 - iii 活動報告等紹介媒体の作製等
- ③ 九大学研都市産学連携推進会議
学研都市内に進出・立地する研究機関、企業の連携を図るための推進会議を1月16日に開催し、8団体が参加した。

(4) 研究機関等の立地支援事業

- ① 産学研究拠点コーディネート
当機構が有する学研都市形成の窓口機能や蓄積された企業情報・経験を基に、産学連携交流センターを中核とする産学研究拠点に繋がる活動を行った。

② ほたる、タウンオンキャンパスへの企業誘致活動等

企業誘致の重点分野である「水素エネルギー」「ナノテクノロジー」「半導体」「自動車」の4分野の企業に対し、九大学研都市の強みをアピールし、誘致活動を行った。

平成23年度は、「三次元半導体研究センター・社会システム実証センターの利活用の可能性の高い企業」、「最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）・有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター（仮称）の利活用の可能性が高い企業」、「過去訪問企業のうち重点4分野に注力していると思われる企業」などを対象に実施し、水素エネルギー分野6社、ナノテク・バイオ分野22社、半導体分野7社、自動車分野5社、その他2社の42社を対象とする訪問活動を行った。

③ 企業向け現地説明会の開催

九大学研都市への企業・研究所の誘致を推進するため、各立地用地の開発状況や産学連携施設、九州大学伊都キャンパスの先端研究施設及び周辺の魅力的な環境などを視察する現地説明会を実施した。

i 現地説明会（定例）

- ・開催日時：平成23年10月31日～11月1日
- ・参加人数：10社・11名

ii 九州経済連合会 現地説明会

- ・開催日時：平成23年12月20日
- ・参加人数：15名

その他、個別企業の現地視察を別途実施した。

④ 研究サポート企業等の誘致

九州大学の研究をサポートする科学機器関連企業や、ホテル等の宿泊機能の誘致活動を行った。

(5) 企業立地促進補助事業

① 北部九州自動車産業活性化人材養成等事業（特別会計）

北部九州における自動車産業の頭脳拠点化に向けた取組みの一環として、経済産業省の補助金採択を受け、自動車関連企業に求められる人材の育成を実施した。

i 中核人材育成コース

- ・受講者：理工系の大学（院）生・高専生等
- ・開催日時：第1回 平成23年8月19日～26日（定員20名、受講20名）
第2回 平成23年9月20日～28日（定員10名、受講10名）

ii 即戦力人材育成コース

- ・受講者：スキルアップを目指す技術経験者等
- ・開催日時：平成23年11月14日～12月8日（定員10名、受講10名）

両コースとも3次元CAD「CATIA V5」による設計技術を中心に実施。なおコンピュータ上のバーチャルな設計に終始せず、現地現物の大切さを体感するエンジン分解組付実習等の実践的な内容に対する受講者の満足度は高く、好評であった。